

—横浜DeNAベイスターズ—



高田琢選手に聞いてみました。

部屋で満足しています」との答え。その部屋には、アイドルの写真は貼ってあるのでは？の問いには、貼っていないとのこと。

食事は？

一階の食堂で食べるのですが、とても美味しく栄養のバランスがとれた食事ができます。朝と夕は、ほとんど寮生だけです

者も多く、大人数になります。

横浜市内の小学校の給食にも出されるという大人気の「ベイスターズ青星寮カレー」の味を聞きかかったが、聞きそびれてしまった。

プロ野球選手としての生活はどうですか？

緊急事態宣言中は、コロナ対策で毎月PCR検査を実施。寮生活のルール上、外出が厳しかったため自室で過ごす毎日。快適な一人部屋生活だが自由に外出できないのが……。

練習場所とは？

寮に隣接したグラウンドや室内練習場。全体練習は十時から十二時。個人練習は十三時から。ウエイトトレーニング、患部のストレッチなど、トレーナーが作成した個別練習メニューをこなす。

寮の様子は？

ホテルのようにお洒落な寮で、しかも一人部屋。天井が高いので広々と開放感があり、広さは十畳ほどで、収納スペースが充実している。部屋にはテレビがあり、選手が使っていたバットもインテリア（ハンガー掛けになっていた）として活用するなど随所に工夫がなされているとホームページには乗っている。「そのとおりで、すごく快適な

ど選手の意見を取り入れた素晴らしい寮で、高田選手は懸命に頑張っている。

一週間の予定と平均練習時間は？

現在は「二日五時間。六日間練習。一日休み。」のサイクルです。

練習内容は？

トレーナーが作成したトレーニングメニューの基礎体力づくり（上半身、下半身）目標とする選手は誰でもいいですか？

今永昇太投手

その理由は？

野球に取り組む姿勢。けがを克服して、故障しない身体づくりをする姿。

高校野球とプロ野球の一番違うと感じる事は？

何ですか？

丸一日練習していた高校野球。プロ野球は、短い時間の中で質の高い練習をする。

身体の変化は？

身長 一七八cm↓同じ体重 七十七kg↓八十二kgに食事の栄養バランスも考えた身体づくりをしている。

入団後の最速は？

MAX 一五〇kmを計測 パーソナルスローガン

「切磋琢磨の功を積む」

中学、高校時代から変わらない「切磋琢磨」の思いを今も大切にしている。

この言葉の思いは？

仲間と一緒に高めあつて共に成長出来る事。

これからの目標、抱負。

目標

来シーズンはケガ無く一年間プレーし、一軍デビュー出来るように努力したい。

抱負

地元の方に感謝し、恩返し出来るような人になりたい。野球だけでなく、人として成長したい。

静商時代の一番の思い出は？

学校行事一つ一つが思い出があり、とくに仲間と一緒に楽しめた体育祭、文化祭は思

い出に深く残っています。

硬式野球部での一番の思い出は？

後悔が思い出される。

二年夏の準々決勝（駿河総合戦）、二年秋東海大会（津商戦）の敗戦。

その理由

二年夏準々決勝駿河総合戦は、二年生エースとして先輩がいる中で抑えることが出来なかった事。

二年秋東海大会、夏の悔しさがあつて新チームで臨んだ東海大会だったのに、抑えられなかった事。

最後の三年夏の甲子園を目指して冬場のトレーニングを積んだが、コロナで春季大会中止。そして緊急事態宣言による休校により練習出来なくなり、夏の甲子園大会が中止になった事。

一番の思い出の試合は？

三年夏静岡県独自大会準々決勝静岡高勝利！

その理由

夏の独自大会は調子は良くなかったが、三年生二十人で臨んだチームで一戦、一戦勝利する事で高校野球を楽しむ事が出来た。

静岡入学後、一年夏ベスト八、二年夏ベスト八、三年夏ベスト四進出。一、二年の記録を超えた事が嬉しかった。三年生二十人のチームはとて

もいい雰囲気でした。検定資格を取得しておく将来活かせる場が広がるので勉強を頑張っていました。

社会人になって味わえない学校行事、体育祭、文化祭等を全力で楽しんでほしい。

静商硬式野球部の後輩

たちに伝えたいこと

仲間を大切に、厳しい練習も仲間と競い合つて楽しんで成長してほしい。

三年間の高校野球を楽しんでほしい。

家族と離れた初めての生活について。

母親とおばあちゃんにわがまま言ってきたので、これから恩返しをしたい。

と優しい言葉で締めくくつた。（川）

第18回同窓会 ゴルフ大会

優勝は、秋山廣志氏（第71回卒）

第十八回ゴルフ大会が、十月十七日水リバー富士カントリークラブで開催。十分な



優勝の第71回卒秋山廣志氏



準優勝とレディース優勝の第77回卒芝原辰子氏



第3位の第77回卒四之宮大二氏

プレーを楽しんだ。優勝は、第71回卒秋山廣志。準優勝は、第77回卒芝原辰子。三位は、第77回卒四之宮大二。レディース優勝は、芝原辰子。準優勝は増井恵美子でした。

《ネット》①秋山廣志 ②芝原辰子 ③四之宮大二

「恩師を訪ねて」 亀山忠志先生



若き日の亀山忠志先生

静商二〇年（一九七三年）、相良、清商で教頭、退職後も三年ほど非常勤講師として教師生活を送る。静岡県出身の奥様とは、お寺のご住職でもある先生仲間がご縁で出会い結婚。一男一女を授かる。

恩師を訪ねて

何ったのは旅立したる四か月ほど前のこと、亀山先生との最後の時間となつてしまった。体調が優れない状態だったはずだが、心配さ

さを知っているからこそ、なるようになると腹を据える力強さを持つていて、私たち家族

は頼りきつていた存在でした。奥様のやつとで聞こえる声から亀山先生への想いがあるふれていた。亀山先生が旅立たれて一か月が過ぎた頃のこと

であった。

静商では、硬式野球部の部長となり、部員の多い男子クラスを受け持つことが多かった。当時のクラスの部員たちは、昼休みのグラウンド整備のため昼休みよりも早い休み時間にお弁当を食べたり、遅く

までの練習やその後の片づけ準備・自主練習などから昼寝をしてしまつたりと、部活動に一生懸命だからこそこの叱りつけに耐えられないものかし

や。亀山先生は、北海道稚内市の近くで育ち、大学は群馬県で経済を学び高校教師となる。その後、住んでみたいと憧れていた静岡県で、沼商一〇年、

《クロス》①芝原辰子 ②岡本政俊 ③川島貞雄 来年も十月第三水曜日に開催予定です。ご参加を！（文中敬称略） 寄贈者：芳名 下村勝彦（第62回卒）、伊藤喜代次（第69回卒）、石垣善康（第66回卒）、萩原理右（第74回卒）、関原秀夫（第77回卒）、山本繁則（第83回卒）、川澄真一郎（第77回卒）、大塩正一（第63回卒）、佐野敏夫（第63回卒）、鈴木輝男（第72回卒）、吉田順子（第73回卒）、高山房之（第75回卒）、八木章夫（第79回卒）、両角昇吾（第83回卒）、中山容子（第76回卒）、岡本政俊（第62回卒）、古牧清孝（第71回卒）（敬称略・順不同）

内孫外孫ともにお孫さんとの時間も増えた。「今から孫のところへ行つてカレーを作つてくる、カレーが好きなんだよ」と電話越しの声も温かかったことを覚えている。

卒業後の生徒のことも気がかけ、先生仲間とも長い付き合いがあり、届いた年賀状の分厚い束を見たことがあるが、亀山先生も相当な枚数の年賀状をいつも直筆で書かれていた。お茶目な一面もある飾らず気さくな先生だった。

現在、奥様は亀山先生も応援されていた開業三二年の亀山画廊を続け、亀山先生の背中を見て育つたご長男は、高校教師となり父の想いを受け継いでいる。

亀山忠志（かめやまただし）

先生 一九三九年五月二六日、二〇二一年一月二三日（享年八二歳）

亀山先生は胃がんを患われ旅立たれました。先生と奥様のご縁を結んだご住職のお寺で眠られていたそうです。

恩師亀山忠志先生、今も感謝の気持ちで絶えません。（筆はな）